

全実空連第2653号
平成27年2月19日

東日本実業団空手道連盟理事長
西日本実業団空手道連盟理事長 殿
全自衛隊空手道連盟理事長

全日本実業団空手道連盟
理事長 矢内 誠



平成27年度公益財団法人日本体育協会公認コーチ
養成講習会受講希望者の推薦について

公益財団法人全日本空手道連盟から日本体育協会公認コーチ養成講習会の開催並びに受講希望者推薦の案内がありました。

つきましては、貴連盟会員から受講候補者（受講基準を満たした者）を推薦戴きますよう、お願い申し上げます。

期日までに提出のあった候補者を技術部会及び代表者会議で慎重に選考のうえ、全日本実業団空手道連盟の推薦として全空連へ提出いたします。

なお、今年度より受講申込みにあたってインターネットによる申込みも必要となりますので、その旨の周知も併せてお願い申し上げます。

記

1. 推薦者数（コーチ若干名）

割当の枠内で全日本実業団空手道連盟として全空連へ推薦いたします。選考の結果、推薦者なしとする場合もありますので予めご了承ください。

2. 実連選考

各連盟は、別添推薦書により推薦者を2月28日（土）までに全実連事務局へ提出してください。選考は、3月1、2日を予定しています。

※ 競技歴・推薦理由等の記載欄が不足する場合は別紙とすること。

3. 書類提出（推薦者について推薦理由を記載し、「受講希望者個人調書」を添付して下さい）

4. インターネット申込み

日体協ホームページ・コーチ項目の japan-sports.or.jp から「コーチ受講の手引き」をダウンロードし内容を確認して下さい。申込み認証コードは、受講決定者に後日通知します。

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-6-18
全日本実業団空手道連盟 事務局 渡邊 博
自宅FAX 04-7175-0997
携帯番号 090-9852-2686
事務局Eメール 2115711201@jcom.home.ne.jp



全空連 第351号
平成27年 2月12日

各都道府県空手道連盟理事長 殿
各競技団体空手道連盟理事(委員)長 殿
各協力団体空手道連盟理事長 殿

公益財団法人 全日本空手道連盟
専務理事 有竹隆佐

平成27年度公益財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
受講希望者の推薦について (依頼)

平素より本連盟の諸事業につきましては、多大なるご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本年度も標記の講習会を実施することになりました。

つきましては、貴団体において今後も強化スタッフ等として継続して活動できる指導者をご推薦くださるようお願い申し上げます。

なお、受講希望者として公益財団法人日本体育協会へ推薦するには、公益財団法人日本体育協会の指導者養成講習会の目的及び本連盟の資格基準に基づいて、貴団体から提出された「推薦書」及び受講希望者本人の「個人調書」を本連盟が厳正に審査し推薦いたします。

また、平成27年度養成講習会から申込方法が従来 of 受講希望者個人調書等による書類の提出に加え、インターネットサービスによる申込も可能となりました。

本連盟では、この機会に業務負担の軽減を図るとともに申込方法の変更に伴う混乱を低減するため、従来 of 個人調書による書類の提出と、インターネットサービスによる申込の双方を平成27年度養成講習会受講希望者に義務付けることといたします。

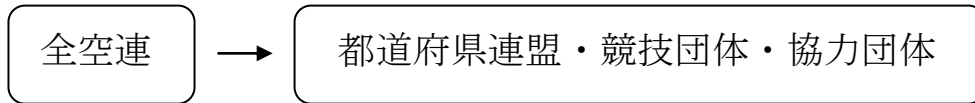
つきましては、各都道府県連盟ご担当者様に於かれましては、同封の「受講の手引き」をご熟読の上、受講希望推薦者へインターネットによる申込の案内も合わせて行っていただきますようお願い申し上げます。

注) 受講希望者から全空連のみへの直接の申込は受付けておりません。以下、「1. 申込までの流れ」をご確認いただき、必ずご所属の団体を通じてお申込みください。

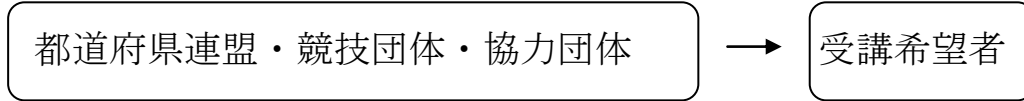
記

1. 申込までの流れ

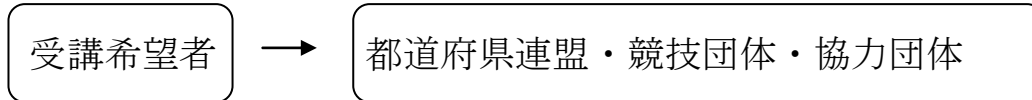
①公認コーチ・上級コーチ養成講習会受講希望者推薦の案内送付



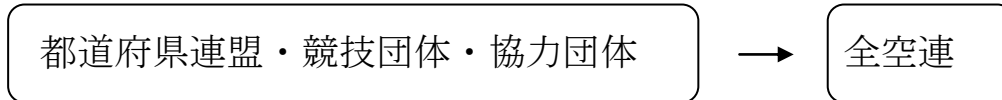
②公認コーチ・上級コーチ養成講習会受講希望者への案内



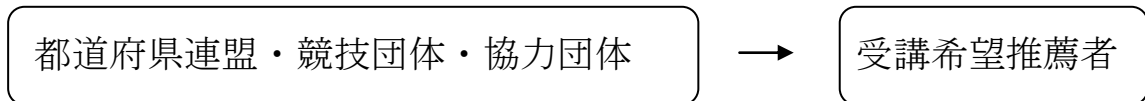
③受講希望者個人調書の作成・全実連事務局へ提出 (**2月28日必着**)



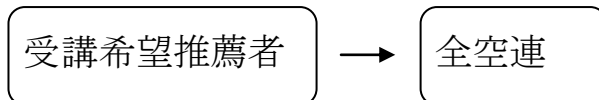
④受講希望者推薦書及び受講希望者個人調書の提出 (提出期限：3月6日)



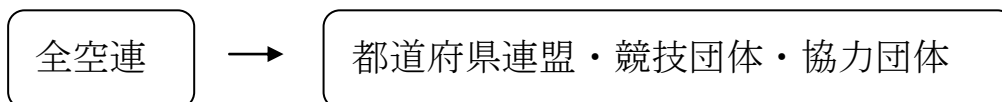
⑤受講希望推薦者へインターネットサービスでの申込案内



⑥インターネットサービスでの申込 (申込期限：3月13日)



⑦インターネットサービスでの申込確認・報告



2. 提出書類

(1) 受講希望者推薦書

(2) 受講希望者個人調書

★受講動機記入内容 (別紙記載例を参照のこと。)

①指導者として、現在どこでどのような立場で誰を指導しているか

②地域において、どのように有望な競技者を育成するか

★スポーツ指導者の活動に関する調査は、インターネットによる申込時に入力できるため、書類を提出する必要はございません。

3. 受講資格

下記基準を満たし、全空連の会員登録者であること。

受講資格基準	年齢
公認段位4段位以上	28歳以上

*年齢は受講年度の4月1日現在の満年齢をいう。

4. 提出書類の期限：

平成27年 3月 6日（金）必着

インターネット申込の期限：

平成27年 3月13日（金）17：00まで

★推薦団体は受講推薦者にインターネットサービスによる申込方法の案内を行ってください。

★書類提出とインターネット申込双方の手続きが必要となります。どちらか一方のみでは受講を受付できませんのでご注意ください。

★特別な事情によりインターネットの利用が困難な場合は、インターネット申込期限までに本件担当者宛までその旨ご連絡ください。

5. 別 紙

- (1) 平成27年度公益財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
「受講希望者推薦書」（全空連会員証（写）貼付書）
- (2) 受講希望者個人調書（裏面：免除申請に伴う保有資格登録証等貼付書）
- (3) 平成27年度公益財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
「受講の手引き」
- (4) 受講動機記載例

6. 専門科目講習会開催期日・場所（予定）

（前期）平成27年10月16日（金）～10月18日（日） 2泊3日：日本空手道会館

（後期）平成27年12月18日（金）～12月20日（日） 2泊3日：日本空手道会館

7. 注意事項

- (1) 全空連の会員登録未登録者及び失効者は、受講期間中に会員登録することを条件に受講を認める。
- (2) 日本体育協会空手道公認スポーツ指導者資格を失効している者は、受講期間中に更新または再登録することを条件に受講を認める。

本件担当：指導普及課 岡崎紀創

TEL：03-5534-1951

FAX：03-5534-1952

E-mail：okazaki-k-karatado@japan-sports.or.jp

平成 27 年度公益財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
受 講 希 望 者 推 薦 書

推薦者氏名	性別	生年月日	年齢	空手道歴	公認段位	競技者歴	日体協保有資格	日体協保有資格 登録有効期限	推 薦 理 由
						国内・国際大会名			
		西 曆 19 年 月 日						20 年 月	
		西 曆 19 年 月 日						20 年 月	
		西 曆 19 年 月 日						20 年 月	
		西 曆 19 年 月 日						20 年 月	
		西 曆 19 年 月 日						20 年 月	

*全空連会員証の写しを貼付した貼付書を添えてください。

平成 27 年 月 日

団 体 名： 全日本実業団空手道連盟 印

記載者氏名： _____

平成 27 年度 公認コーチ養成講習会 受講希望者個人調書

「受講の手引き」の内容を了承し、下記のとおり受講を申し込みます。

競技名	空手道		種目名		
ローマ字氏名			性別	生年月日／年齢(H27年4月1日現在)	
フリガナ			男・女	西暦	
氏名 <small>※フリガナ、ローマ字は必ず記入してください</small>				19	年
連絡先 (資料送付先等)	〒 ー ー 住所(都道府県名から記入)		Tel	ー ー	
			Fax	ー ー	
			携帯 Tel	ー ー	
			携帯電話 mail		
E-mail:					
勤務先名		職種 (いずれかに○)	・小学校教員 ・中学校教員 ・高校教員 ・大学・高専教員 ・公務員 ・会社員(団体職員含む) ・工員商店員 ・農業・漁業 ・医師 ・自由業(弁護士・僧) ・団体役員 ・商工自営 ・主婦 ・学生 ・無職 ・その他		
共通科目受講希望会場 <small>※免除の有無に関わらず全員記入ください。 ※必ず第2希望までご記入ください。</small>		第1希望		第2希望	
		会場番号	第 会場	第 会場	
		都市	東京・名古屋・大坂・福岡	東京・名古屋・大坂・福岡	
受講動機(※具体的にご記入下さい)					

■共通科目・専門科目免除申請(※免除の申請を希望する方のみ下記太枠内をご記入ください)

共通科目	する ・ しない ↓ 「する」に○した方は、下記事項を記入ください。
	1. 日本体育協会公認資格有資格者
	資格名
	登録番号
	有効期限 年 月 日
2. 免除適応コース共通科目修了証明書取得者	
3. その他()	
専門科目	する ・ しない

※免除申請者は、必ず免除証明書類の写しを添付すること。証明書類の添付がない免除申請は認めない。

■共通科目・専門科目免除審査結果(日本体育協会及び中央競技団体が記入)

共通科目	免除あり: 共通Ⅰ・共通Ⅱ・共通Ⅲを免除とする。	免除内容 確認者
	免除なし	
専門科目	免除あり: 専門科目の全て・一部を免除する。	免除内容 確認者
	免除なし	

※太枠内の事項全てをご記入ください。記入・捺印漏れの申込書は受付いたしません。十分ご注意ください。

※携帯電話 mail については、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

免除申請に伴う保有資格等登録証を添付下さい。
(二つ折り可)

(注) 白色の登録証の場合は、裏面の写しを添付ください。青色の登録証の場合は、両面の写しを添付ください。登録証がクレジットカードの場合は、クレジットカード番号(16桁番号)およびカード裏面の署名欄の番号をマジック等で塗りつぶしてください。

のりしろ

平成27年度公認コーチ養成講習会受講希望者全空連会員証(写)貼付書

団体名: 全日本実業団空手道連盟

受講動機記載例

★コーチ

現在、高校空手道部の監督として、高校生を指導育成しており、インターハイ、国体等の県代表選手を輩出している。

今後、世界でも通用する選手を育成することを目的とし、私自身のさらなるレベルアップを図るため。

以上の理由から、受講を希望する。

専門科目における講習・試験の免除について

公益財団法人全日本空手道連盟

平成25年 4月 1日より施行

1. 指導員の資格を有する者は、上級指導員の実技4時間の講習・試験を免除する。
2. 上級指導員の資格を有する者は、コーチの実技8時間と指導実習4時間の計12時間の講習・試験を免除する。
3. コーチの資格を有する者は、上級コーチの実技9時間と指導実習2時間の計7時間の講習、試験を免除する。
4. 公益財団法人全日本空手道連盟地区審判員以上の資格を有する者は、指導員の実技3の講習・試験を免除する。
5. 公益財団法人全日本空手道連盟が主催した（定める）指導員講習・研修会を受講・修了した者は、指導員の実技5時間、上級指導員の実技4時間、コーチの実技8時間と指導実習4時間の計12時間の講習・試験を免除する。
6. その他、国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められた者は、公益財団法人日本体育協会と公益財団法人全日本空手道連盟が内容・程度を審査のうえ、指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチの受講科目のいずれかを免除する。

別表 (公認スポーツ指導者 資格取得基準)

種別	資格取得基準			
	公認段位	年齢	空手道歴	受講条件
上級 コーチ	5段 以上	32歳 以上	15年 以上	①空手道コーチとして指導実績があり、国際的レベルの競技者として、また国際的レベルの競技会にコーチ・監督として帯同した相当の経験があり指導者資質があると都道府県空手道連盟が推薦し、全日本空手道連盟が認めた者。 ②全日本空手道連盟が指名した者。(免除条件については別途定める。)
コーチ	4段 以上	28歳 以上	12年 以上	①空手道上級指導員として指導実績があり都道府県空手道連盟が推薦し、全日本空手道連盟が認めた者。 ②資格保有者ではないが国際的レベルの競技者として、また国際的レベルの競技会にコーチ・監督として帯同の経験があり指導者資質があると都道府県空手道連盟が推薦し、全日本空手道連盟が認めた者。 ③全日本空手道連盟が指名した者。(免除条件については別途定める。)
上級 指導員	3段 以上	24歳 以上	7年 以上	①空手道指導員資格保有者で都道府県空手道連盟が認める者。 ②資格保有者ではないが全国レベルの競技者として、また全国レベルの競技会にコーチ・監督として帯同の経験があり指導者資質があると都道府県空手道連盟が認める者。(免除条件については別途定める。)
指導員	2段 以上	20歳 以上	4年 以上	地域の空手道教室等において、個々の年齢・性別などに合わせ実際に空手道を指導し、都道府県空手道連盟が認める者。(免除条件については別途定める。)

注) 1)年齢は受講年度の4月1日現在の満年齢をいう。

2)空手道歴は満10歳より数える。

3)資格取得後は資格有効期限(4年)以内に1回以上、本連盟が主催する更新義務講習会を受講しなければならない。